

**令和5年度**

**学部3年次学生を対象とする特別入試  
学生募集要項**

**【大学院理工学研究科博士前期課程（工学系）】**

化学・バイオ工学専攻  
情報・エレクトロニクス専攻  
機械システム工学専攻  
建築・デザイン・マネジメント専攻

**【大学院有機材料システム研究科博士前期課程】**

有機材料システム専攻

**令和4年12月**

**山形大学大学院理工学研究科**

**山形大学大学院有機材料システム研究科**

## お知らせ

### ★外部テスト（TOEIC®TEST又はTOEFL®TEST）の利用について

新型コロナウイルス感染症の拡大状況及び、TOEIC® Listening & Reading公開テストが令和4年度途中まで定員制・抽選制での申込受付を導入していたことを受けて、下記の対応を行います。

#### 【対応内容】

令和5年度博士前期課程入学試験（4月入学）学部3年次学生を対象とする特別入試においては、外部テスト（TOEIC又はTOEFL）の成績を利用しません。

また、出願書類として、外部テスト（TOEIC又はTOEFL）の成績書の提出を求めません。

### ★その他今後の対応等について

現在のところ、学部3年次学生を対象とする特別入試においては、3つの密（密閉・密集・密接）を避け、受験生が安心して受験できるよう試験実施体制を整えた上で、工学部試験場にて実施する予定です。

なお、海外に在住し、新型コロナウイルス感染症の影響により試験日に来日が困難で、工学部試験場での入学試験を受験できない方は、至急、山形大学工学部入試担当（電話（0238）26-3013）までご連絡願います。

今後、新型コロナウイルス感染症の影響により、上記の内容及び本要項の記載内容に変更が生じた場合は、本研究科ホームページ「入学案内」及び「大学院受験生の方」でお知らせしますので、随時確認してください。

【山形大学工学部／大学院・理工学研究科／有機材料システム研究科 ホームページ】

<https://www.yz.yamagata-u.ac.jp>

## 目 次

アドミッション・ポリシー	1
I 募集人員	4
II 日程	4
III 学部3年次学生を対象とする特別入試について	
1 出願資格	4
2 出願資格の事前審査について	5
3 出願期間	5
4 出願手続	5
5 入学者選抜方法	7
6 試験場	7
7 合格者の発表	7
8 入学手続	7
IV 受験者心得	8
V 受験上及び修学上の配慮を希望する入学志願者の事前相談	8
VI 授業料	9
VII その他	9
VIII 入学時の学籍等について	9
IX 学士の学位取得について	9
X 理工学研究科（工学系）の概要	10
XI 有機材料システム研究科の概要	10

★お問合せ先

山形大学工学部入試担当

〒992-8510 山形県米沢市城南四丁目3-16

電話 (0238) 26-3013

# アドミッション・ポリシー

## 理工学研究科（工学系）

理工学研究科（工学系）は、博士前期課程（Master's Program）の化学・バイオ工学専攻、情報・エレクトロニクス専攻、機械システム工学専攻、建築・デザイン・マネジメント専攻の4専攻と博士後期課程（Doctor's Program）の先進工学専攻の1専攻からなり、さらに先進工学専攻には4つの分野（化学・バイオ工学分野、情報・エレクトロニクス分野、機械システム工学分野、建築・デザイン・マネジメント分野の4分野）を置いています。

博士前期課程では、科学技術の高度化・国際化に対応できる幅広い視野と工学分野の精深な学識と高度な技能に加え、21世紀の社会情勢と産業構造の変革に呼応して、地域創生・次世代形成・多文化共生に資する豊かな人間力を備えた人材を輩出するという方針のもと、高度な研究環境において教育を実践します。

博士後期課程では、グローバル化の進む中、それぞれの専門分野において基礎となる豊かな学識と高度な研究能力を養う博士（工学）の教育を推進して卓越した専門性と自立した科学者、教育者として世界に通用する人材を輩出するという方針のもと、高度な研究環境において教育を実践します。

理工学研究科（工学系）の求める学生像は、以下のとおりです。

### ◆求める学生像

- 専門分野の学修に必要な基礎学力を有し、さらに深く学ぼうとする意欲
- 専門分野に関する知識を生かし、論理的な思考のもと、自然科学の探究や課題解決に取り組む積極性と意欲
- 社会に貢献する積極性と意欲
- 自ら考えて決断、行動する力
- 協調性と高い倫理観

### 博士前期課程

#### （化学・バイオ工学専攻）

### ◆求める学生像

博士前期課程では、以下を持つ人材を筆記試験と口頭試問及び面接試験により選抜します。

- 専門分野に関する基礎学力を有し、さらに深く学ぼうとする意欲
- 専門分野に関する知識を生かし、論理的な思考のもと、自然科学の探究や研究開発に取り組む積極性と社会に貢献する意欲
- 自ら考えて決断、行動する力
- 協調性と高い倫理観

### ◆入学選抜の基本方針

上記の【求める学生像】で示す能力等を有する人を多面的・総合的に評価するため、以下の方法により選抜します。

- （1）一般入試（学力検査等（筆記試験、面接、口頭試問又は外部テストの成績書等）及び出身大学等の成績証明書の審査結果を総合して判定）
- （2）社会人入試（面接及び口頭試問、書類審査の結果を総合して判定）
- （3）外国人留学生入試（面接及び口頭試問、書類審査の結果を総合して判定）
- （4）推薦入試（面接及び口頭試問、出身大学等の成績証明書、推薦書並びに外部テストの成績書等を総合して判定）
- （5）学部3年次学生を対象とする特別入試（面接及び口頭試問、在籍大学の成績証明書並びに外部テストの成績書等を総合して判定）

#### （情報・エレクトロニクス専攻）

### ◆求める学生像

博士前期課程では、以下を持つ人材を筆記試験と口頭試問及び面接試験により選抜します。

- 専門分野に関する基礎学力を有し、さらに深く学ぼうとする意欲
- 専門分野に関する知識を生かし、論理的な思考のもと、自然科学の探究や研究開発に取り組む積極性と社会に貢献する意欲
- 自ら考えて決断、行動する力

- 協調性と高い倫理観

◆**入学者選抜の基本方針**

上記の【求める学生像】で示す能力等を有する人を多面的・総合的に評価するため、以下の方法により選抜します。

- (1) 一般入試（学力検査等（筆記試験、面接、口頭試問又は外部テストの成績書等）及び出身大学等の成績証明書の審査結果を総合して判定）
- (2) 社会人入試（面接及び口頭試問、書類審査の結果を総合して判定）
- (3) 外国人留学生入試（面接及び口頭試問、書類審査の結果を総合して判定）
- (4) 推薦入試（面接及び口頭試問、出身大学等の成績証明書、推薦書並びに外部テストの成績書等を総合して判定）
- (5) 学部3年次学生を対象とする特別入試（面接及び口頭試問、在籍大学の成績証明書並びに外部テストの成績書等を総合して判定）

**（機械システム工学専攻）**

◆**求める学生像**

博士前期課程では、以下を持つ人材を筆記試験と口頭試問及び面接試験により選抜します。

- 専門分野に関する基礎学力を有し、さらに深く学ぼうとする意欲
- 専門分野に関する知識を生かし、論理的な思考のもと、自然科学の探究や研究開発に取り組む積極性と社会に貢献する意欲
- 自ら考えて決断、行動する力
- 協調性と高い倫理観

◆**入学者選抜の基本方針**

上記の【求める学生像】で示す能力等を有する人を多面的・総合的に評価するため、以下の方法により選抜します。

- (1) 一般入試（学力検査等（筆記試験、面接、口頭試問又は外部テストの成績書等）及び出身大学等の成績証明書の審査結果を総合して判定）
- (2) 社会人入試（面接及び口頭試問、書類審査の結果を総合して判定）
- (3) 外国人留学生入試（面接及び口頭試問、書類審査の結果を総合して判定）
- (4) 推薦入試（面接及び口頭試問、出身大学等の成績証明書、推薦書並びに外部テストの成績書等を総合して判定）
- (5) 学部3年次学生を対象とする特別入試（面接及び口頭試問、在籍大学の成績証明書並びに外部テストの成績書等を総合して判定）

**（建築・デザイン・マネジメント専攻）**

◆**求める学生像**

博士前期課程では、以下を持つ人材を口頭試問及び面接試験により選抜します。

- 専門分野に関する基礎学力を有し、さらに深く学ぼうとする意欲
- 専門分野に関する知識を生かし、論理的な思考のもと、自然科学の探究や研究開発に取り組む積極性と社会に貢献する意欲
- 自ら考えて決断、行動する力
- 協調性と高い倫理観

◆**入学者選抜の基本方針**

上記の【求める学生像】で示す能力等を有する人を多面的・総合的に評価するため、以下の方法により選抜します。

- (1) 一般入試（学力検査等（面接、口頭試問又は外部テストの成績書等）及び出身大学等の成績証明書の審査結果を総合して判定）
- (2) 社会人入試（面接及び口頭試問、書類審査の結果を総合して判定）
- (3) 外国人留学生入試（面接及び口頭試問、書類審査の結果を総合して判定）
- (4) 推薦入試（面接及び口頭試問、出身大学等の成績証明書、推薦書並びに外部テストの成績書等を総合して判定）
- (5) 学部3年次学生を対象とする特別入試（面接及び口頭試問、在籍大学の成績証明書並びに外部テストの成績書等を総合して判定）

## 有機材料システム研究科

有機材料システム研究科は、有機材料システム分野における学生の探究心に応え、能力を啓発し、自立さらには新分野を開拓できる人材を育成する理念のもと、基礎知識を展開して高度な専門課題にも問題解決能力を有する技術者・研究者・教育者の養成、さらに、人として高い倫理観を持った技術者・研究者・教育者の養成を目標としています。有機材料システム研究科では、有機材料の基礎から応用に至る知識を単に修得するのみならず、それらを核として他分野との連携により拡張される、より広範な有機材料システム分野を教育・研究の対象とします。

有機材料システム研究科の求める学生像は以下のとおりです。

### 博士前期課程

#### ◆求める学生像

博士前期課程では、以下を持つ人材を口頭試問及び面接により選抜します。

- 有機材料分野に関する知識を生かし、論理的な思考のもと、自然科学の探究や研究開発に積極的に取り組む人
- 有機材料システム分野に関する知識や技術を通して広く社会に貢献したい人
- 社会の中での協調性を保ちながら、自ら考えて決断、実行出来る人、他人への思いやりの心と高い倫理観を持つ人

#### ◆入学者選抜の基本方針

上記の【求める学生像】で示す能力等を有する人を多面的・総合的に評価するため、以下の方法により選抜します。

- (1) 一般入試（学力検査等（面接、口頭試問又は外部テストの成績書等）及び出身大学等の成績証明書の審査結果を総合して判定）
- (2) 社会人入試（面接及び口頭試問並びに書類審査の結果を総合して判定）
- (3) 外国人留学生入試（面接及び口頭試問並びに書類審査の結果を総合して判定）
- (4) 推薦入試（面接及び口頭試問、出身大学等の成績証明書、推薦書並びに外部テストの成績書等を総合して判定）
- (5) 学部3年次学生を対象とする特別入試（面接及び口頭試問、在籍大学の成績証明書並びに外部テストの成績書等を総合して判定）

## I 募集人員

### 【理工学研究科（工学系）】

専攻名	募集人員
化学・バイオ工学専攻	若干人
情報・エレクトロニクス専攻	若干人
機械システム工学専攻	若干人
建築・デザイン・マネジメント専攻	若干人

### 【有機材料システム研究科】

専攻名	募集人員
有機材料システム専攻	若干人

## II 日程

項目等	月日
事前審査申請書類提出期間	令和5年1月18日（水）～1月20日（金）（必着）
事前審査結果の通知期日	令和5年1月26日（木）
出願期間	令和5年2月7日（火）～2月9日（木）（必着）
試験日	令和5年3月7日（火）
合格者発表	令和5年3月9日（木）11時（予定）

## III 学部3年次学生を対象とする特別入試について

### 1 出願資格

令和5年3月末において、大学に3年以上在学し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと志願研究科において認めた者で、以下の条件を満たす者とします。

ただし、本研究科の推薦入試、一般入試、社会人入試、外国人留学生入試の出願資格を満たす者は、出願できません。

#### (1) 在学期間について

令和5年3月末において、大学における在学期間が3年に達していること。

#### (2) 学業成績について

令和5年3月末において、以下の条件をすべて満たすこと。

##### ① 専門教育科目の単位数について

在籍大学の指定した卒業に必要な専門教育科目の単位数から4年次に開講している必修科目と卒業研究の単位を除いた単位数（以下「要件単位数」という。）を第3年次終了までに修得又は修得見込みであること。

##### ② 専門教育科目の成績について

要件単位数の全ての成績が100点満点で80点以上であること（優・良・可，A・B・C等の標記による評価の場合は、点数評価の基準80点以上を満たす評価であること）。

##### ③ 専門教育科目を除く科目（教養教育科目等）について

専門教育科目を除く科目（教養教育科目等）については、卒業要件を満たすために必要な単位数以上の単位数を修得済みであること。

## 2 出願資格の事前審査について

- (1) この出願資格の認定については、事前審査を行うので、事前審査申請書類提出期間中に、次の書類をそろえ、以下の「事前審査申請書類提出先」に提出してください。

**事前審査申請書類提出先** 山形大学工学部入試担当  
〒992-8510 山形県米沢市城南四丁目3-16

### 【事前審査申請書類】

事前審査申請書	本要項に添付の所定の用紙に、必要事項を記入してください。
在籍大学の成績証明書	在籍大学の学長又は学部長が作成し、 <b>厳封</b> されたもの。
履修登録一覧(※)	第3年次に修得見込の科目名及び単位数も記載されたもの。
出願者の所属する学科等の教育課程表(※)	出願者が所属する学科等の開講科目についての講義内容等が詳細に記載されたもの(履修の手引等、授業内容一覧、卒業要件単位数が記載されたもの。)
返信用封筒	市販の封筒(長形3号・23.5cm×12.0cm)に郵便番号・住所・氏名を記入し、84円分の切手をはって提出してください。

※山形大学工学部に在籍している学生は提出不要です。

- (2) 事前審査申請書提出期間

令和5年1月18日(水)から1月20日(金)まで

受付時間は、9時から16時30分までとします。

郵送の場合は書留速達とし、1月20日(金)まで**必着**とします。

- (3) 事前審査の結果は、令和5年1月26日(木)付けで本人あてに通知します。

## 3 出願期間

令和5年2月7日(火)から2月9日(木)まで

受付時間は9時から16時30分までとします。

なお、郵送の場合も2月9日(木)まで**必着**とします。

## 4 出願手続

「2 出願資格の事前審査について」で出願資格の認定をされた志願者は、**必ず希望指導教員に事前に相談してから**、出願書類を一括し、所定の期日までに以下の「出願書類提出先」に提出してください。

なお、郵送する場合は**書留速達**とし、封筒に「【学部3年次学生を対象とする特別入試】入学願書在中」と朱書きしてください。

**出願書類提出先** 山形大学工学部入試担当  
〒992-8510 山形県米沢市城南四丁目3-16

- (1) 出願書類等

出願書類	出願書類作成上の注意
入学願書 写真票 受験票	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本要項に添付の所定の用紙に、必要事項をもれなく記入してください。</li> <li>○ 写真票の所定欄に出願前3か月以内に撮影した上半身、無帽、正面向きの写真(4cm×3cm)をはってください。</li> <li>○ 希望指導教員名欄の記入に当たっては、山形大学工学部/大学院・理工学研究科/有機材料システム研究科のホームページ(<a href="https://www.yz.yamagata-u.ac.jp">https://www.yz.yamagata-u.ac.jp</a>)「大学院受験生の方」の「博士前期課程担当教員表」を参照してください。</li> </ul>
検定料を振り込んだことが分かる書類の写し	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <b>検定料 30,000円</b> ただし、本学出願時に入学後の国費外国人留学生奨学金の受給が決定されている方については、検定料を納付する必要はありませんので、国費外国人留学生奨学金の受給決定者であることを確認できる書類の写しを添付してください。</li> <li>1 払込期間：令和5年1月31日(火)から2月9日(木)まで</li> <li>2 払込方法 (1) 以下の振込先に金融機関窓口又はATMから振り込んでください。</li> </ul>

出願書類	出願書類作成上の注意
	<p>金融機関窓口からは「電信扱」で振り込んでください。</p> <p>(2) 振込の際、ご依頼人名・振込人名等には、必ず数字の「<b>251</b>」(理工学研究科(工学系)に出願の場合)もしくは「<b>253</b>」(有機材料システム研究科に出願の場合)と記入した後に志願者本人の氏名を記入してください(この数字は本学で振込人の志願研究科等を識別するためのものです。)</p> <p>(3) 振込手数料は各自で負担してください。</p> <p>3 振込先  【金融機関名】山形銀行  【支店名】本店営業部  【預金種別】普通口座  【口座番号】59358  【口座名義(カナ名義)】ヤマガタダイガク  【口座名義】国立大学法人山形大学 学長 玉手英利</p> <p>4 振込内容が分かる振込控え(「ご利用明細」など)の写しを提出してください。  振込控えに預金残高など出願に関係のない個人情報が入力されている場合は、「振込日時」「振込先」「振込人氏名」「振込金額」以外は塗りつぶしてもかまいません。  振込控えに「振込予約日」が記載されている場合は、「振込予約日」を塗りつぶさないでください。  モバイルバンキングなど、振込控えが出ない方法では振り込まないでください。</p> <p>5 既に払い込んだ検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。  (1) 検定料を払い込んだが出願しなかった場合(出願書類等を提出しなかった場合又は出願が受理されなかった場合を含みます。)  (2) 誤って検定料を二重に払い込んだ場合  (3) 出願後に国費外国人留学生奨学金の延長が決定し、本学に入学する場合</p> <p>6 返還手続  検定料の返還を希望する場合は、下記URLから「検定料返還申出書」をダウンロードし、必要事項を記入及び必要書類を添付の上、令和5年3月31日(金)までに、山形大学工学部入試担当まで送付してください。  <a href="https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/entrance/faq/return/">https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/entrance/faq/return/</a>  ※返還請求についてのお問合せ先：山形大学工学部入試担当  (電話 0238) 26-3013)</p>
返信用封筒	○ 市販の封筒(長形3号・23.5cm×12.0cm)に志願者本人の郵便番号・住所・氏名を記入し、84円分の切手をはって提出してください。
ラベル票	○ 本要項に添付の所定の用紙に、志願者が確実に合格通知書等を受け取ることができる住所等(令和5年3月時点)を記入してください。
その他	外国人の場合 ○ 「在留カードの写し(両面を写したもの)」又は日本に住民登録をしている方は、「届出を行った自治体で発行された住民票の写し」を提出してください。 ○ 住民登録をしていない方は、「パスポートの写し」、「本国の戸籍抄本」又は「市民権等の証明書」のうちいずれか1つを提出してください。

### 【その他の提出書類】

志願者は、令和5年2月24日(金)までに第3年次後期の修得科目を含めた成績証明書を郵送にて提出してください(山形大学工学部に在籍している学生は提出不要です。)

### (2) 出願に当たっての留意事項

入学願書等の出願書類は、山形大学工学部/大学院・理工学研究科/有機材料システム研究科ホームページ(<https://www.yz.yamagata-u.ac.jp>)「大学院受験生の方」の「各種募集要項」からダウンロードし、**A4判白紙に片面縦方向で印刷**の上、記入及び提出してください。

## 5 入学者選抜方法

- (1) 入学者の選抜は、全専攻とも面接及び口頭試問、在籍大学の成績証明書等を総合して行います。
- (2) 試験日 令和5年3月7日(火)
- (3) 面接及び口頭試問の時間等

### 【理工学研究科(工学系)】

専攻	試験時間	9:00～
	試験科目	面接及び口頭試問
化学・バイオ工学専攻	面接は、志望動機、科学技術への関心及び大学院における研究の希望について行います。 口頭試問は、基礎科目・専門科目等の知識について行います。 試験時間は、1人60分程度です。	
情報・エレクトロニクス専攻		
機械システム工学専攻		
建築・デザイン・マネジメント専攻		

### 【有機材料システム研究科】

専攻	試験時間	9:00～
	試験科目	面接及び口頭試問
有機材料システム専攻	面接は、志望動機、科学技術への関心及び大学院における研究の希望について行います。 口頭試問は、基礎科目・専門科目等の知識について行います。 試験時間は、1人60分程度です。	

## 6 試験場

山形大学工学部試験場 〒992-8510 山形県米沢市城南四丁目3-16

## 7 合格者の発表

令和5年3月9日(木) 11時(予定)

山形大学工学部／大学院理工学研究科／有機材料システム研究科ホームページ (<https://www.yz.yamagata-u.ac.jp>) に合格者の受験番号を掲載します。

発表直後はアクセスが集中し、つながりにくい場合がありますので、その際はしばらく時間をおいて再度アクセスしてください。

なお、合格者には、合格者の発表後、同日付けで合格通知書を送付します。

## 8 入学手続

入学手続は次のとおりです。

### (1) 入学手続期間

令和5年3月17日(金) から3月22日(水) まで

受付時間は、9時から16時30分までとします(土・日曜日、祝日を除きます。)

### (2) 入学料

入学手続の際に、入学料を納付していただきます。

○入学料 282,000円

### (3) 提出書類

詳細については、合格通知の際にお知らせします。

### (4) 留意事項

入学手続完了者が、令和5年3月31日(金) までに入学を辞退した場合であっても、入学料は返還しません。

## IV 受験者心得

### 1 受験票について

- (1) 試験当日は、**受験票を必ず持参**し、試験場に入場する際に提示してください。
- (2) 試験場では、常に受験票を携行し、受験中は係員の指示に従ってください。
- (3) 試験当日、受験票を忘れた場合は、入場の際、係員に必ず申し出て、仮受験票発行の手続きをとってください。
- (4) 受験票を紛失した場合は、速やかに山形大学工学部入試担当に申し出てください。
- (5) 受験票は、**入学手続の際に必要**となりますので、合否が確定するまで大切に保管してください。

### 2 天候等により、交通機関に乱れが生じる場合があります。天候状況及び交通機関の運行状況を確認し、できるだけ**試験前日までに米沢市に到着する**など、**各自の責任において必要な対応をとってください。**

### 3 **受験者は、試験開始時刻30分前までに試験場に到着してください。**

### 4 試験開始時刻に遅れた場合は、係員に申し出て指示を受けてください。

### 5 **試験開始後20分を経過した後は、試験室への入室を認めません。**

### 6 試験当日、交通機関の事故又は災害等が発生した場合、試験開始時刻を繰り下げることがあります。

### 7 筆記試験等における留意点について

- (1) **受験票のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、鉛筆（シャープペンシルも可。）、消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類を除く。）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるもの、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く。）、直線定規、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけを取り出したもの。）、目薬です。**

- (2) 試験室では、他人のものを借用したり、共用したりしてはいけません。

- (3) 試験時間内の退室は認めません。受験中の発病等やむを得ない場合には、挙手をして監督者の指示に従ってください。

- (4) 不正行為があると認められた者の答案は、すべて無効とします。

### 8 **携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類は試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。試験時間中に、これらをかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていたりすると不正行為となることがあります。**

### 9 試験時間中は、時計のアラーム等を使用してはいけません。

### 10 試験が午後にわたる受験者は、昼食を持参することが望まれます。

### 11 試験当日は、自動車・バイクによる入構を禁止します。

### 12 試験当日は、受験者以外は試験場建物内に立ち入ることができません。

### 13 受験のための宿泊施設については、本学ではあつせんしません。

### 14 試験当日、試験場付近や最寄りの駅周辺等で合否メール等の受付をする者がいます。これらの者は本学とは何ら関係なく、トラブルが生じても本学は一切責任を負いませんので、十分注意してください。

また、アンケート等と称して、住所や電話番号を書かせたりする者がいますが、これらの者についても本学とは何ら関係なく、個人情報悪用される場合がありますので、慎重に対応してください。

## V 受験上及び修学上の配慮を希望する入学志願者の事前相談

本学に入学を志願する方で、病気・負傷や障害等のために受験上及び修学上の配慮を希望する方は、入学願書の出願受付開始**2～3週間前まで**に山形大学工学部入試担当（電話(0238)26-3013）に相談してください。

なお、相談内容によっては、本学において事前の準備を必要とする場合がありますので、**できるだけ早めにご相談ください。**

## VI 授業料

入学後に納付していただきます。

○授業料 年額535,800円（予定額）

- (注) 1 上記の金額は、予定額です。  
2 在学中に改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。  
3 納付方法等詳細については、入学手続案内を送付する際にお知らせします。

## VII その他

- 1 提出いただいた入学試験に関する個人情報には次の目的のために利用します。なお、この目的以外に当該情報を第三者に開示、提供及び預託することはありません。
  - (1) 入学者選抜試験実施のため
  - (2) 入学手続業務のため
  - (3) 入試統計調査のため
  - (4) 就学上必要な本学での業務のため
  - (5) その他大学として必要な業務のため
- 2 入学試験後に出願資格を満たさないことが確定した場合、又は提出書類の記載事項が事実と相違していることが判明した場合は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- 3 安全保障輸出管理について  
山形大学では、「外国為替及び外国貿易法」等に基づき、「国立大学法人山形大学安全保障輸出管理規程」を定め、技術の提供、貨物の輸出の管理を行っています。その管理のため、外国の政府・法人等から強い影響を受ける状態（特定類型）の該当性に関する申告書を提出していただく場合があります。  
規定事項に該当する場合は、大学から経済産業省への許可申請が必要になる可能性があり、その結果、技術提供がすぐに実施されない場合があります。また、経済産業省への申請について、国際平和・安全の維持の観点から不許可となった場合、結果的に大学からの技術提供が行われない場合があります。

## VIII 入学時の学籍等について

本出願資格（4ページ参照）により、本研究科に入学した場合は、**在学中の大学の学籍上の取扱いは「退学」となり、学士の学位は授与されません。**

なお、大学によっては、早期卒業制度を実施している場合があります。この制度の対象になり3年次で卒業できる場合は、この限りではありません。詳しくは、当該大学の教務担当部署においてご確認願います。

## IX 学士の学位取得について

大学を卒業していなくても、大学改革支援・学位授与機構（旧：大学評価・学位授与機構）が定める基礎資格（大学に2年以上在籍し62単位以上を修得した者）を有する者は、大学改革支援・学位授与機構の定める学修年限及び単位数（基礎資格校の大学分を含めて、満4年が経過していることと、4年以上にわたる学習によって所定の単位数以上修得していること（大学院の在籍期間を含む））を満たすことにより、大学改革支援・学位授与機構から修得単位の審査を受けるとともに、学修成果・試験の審査にも合格することによって学士の学位取得ができるという途が開かれています。内容の詳細は、大学改革支援・学位授与機構が作成する当該年度の「新しい学士への途」に記載されていますので、大学改革支援・学位授与機構のホームページ（<https://www.niad.ac.jp>）で確認してください。

## X 理工学研究科（工学系）の概要

### 1 研究科の組織

本研究科は、前期2年及び後期3年に区分し、前期2年の課程を修士課程、後期3年の課程を博士課程として取扱います。

理工学研究科 博士前期課程 (工学系)	化学・バイオ工学専攻
	情報・エレクトロニクス専攻
	機械システム工学専攻
	建築・デザイン・マネジメント専攻

理工学研究科 博士後期課程 (工学系)	先進工学専攻	化学・バイオ工学分野
		情報・エレクトロニクス分野
		機械システム工学分野
		建築・デザイン・マネジメント分野

### 2 各専攻担当教員等

詳細については、山形大学工学部／大学院理工学研究科／有機材料システム研究科ホームページ (<https://www.yz.yamagata-u.ac.jp>) 「大学院受験生の方」の以下のページをご覧ください。

○理工学研究科 博士前期課程担当教員表

<https://www.yz.yamagata-u.ac.jp/ex-graduate/>

○博士前期課程シラバス

<https://www.yamagata-u.ac.jp/gakumu/syllabus/2022km/top.htm>

## XI 有機材料システム研究科の概要

### 1 研究科の組織

本研究科は、前期2年及び後期3年に区分し、前期2年の課程を修士課程、後期3年の課程を博士課程として取扱います。

有機材料システム研究科 博士前期課程	有機材料システム専攻
-----------------------	------------

有機材料システム研究科 博士後期課程	有機材料システム専攻
-----------------------	------------

### 2 各専攻担当教員等

詳細については、山形大学工学部／大学院理工学研究科／有機材料システム研究科ホームページ (<https://www.yz.yamagata-u.ac.jp>) 「大学院受験生の方」の以下のページをご覧ください。

○有機材料システム研究科 博士前期課程担当教員表

<https://www.yz.yamagata-u.ac.jp/ex-graduate/>

○博士前期課程シラバス

<https://www.yamagata-u.ac.jp/gakumu/syllabus/2022km/top.htm>

令和5年度  
山形大学大学院理工学研究科博士前期課程（工学系）  
山形大学大学院有機材料システム研究科博士前期課程

【学部3年次学生を対象とする特別入試】

## 出 願 書 類

- 事前審査申請書
- 入学願書・写真票・受験票
- ラベル票

(博士前期課程【学部3年次学生を対象とする特別入試】入学志願者)

令和 年 月 日

事前審査申請書

フリガナ  
(志願者) 氏名(署名) \_\_\_\_\_ ※

生年月日 昭和 年 月 日  
平成 (西暦 年)

●<志願する研究科を○で囲んでください>

私は、貴大学大学院  理工学研究科博士前期課程 (  専攻) に入学を  
 有機材料システム研究科博士前期課程

志願するにあたり、事前審査を受けたく、所定の書類を添えて申請いたします。

所属大学

大学 学部 学科第3年次在籍中

※ 「氏名」の欄は、日本国籍を有しない方は、漢字若しくはローマ字とし、姓 (Last(Family) Name), 名 (First(Given) Name), ミドルネーム等の順で記入してください。

令和5年度

山形大学大学院理工学研究科博士前期課程（工学系）

山形大学大学院有機材料システム研究科博士前期課程

【学部3年次学生を対象とする特別入試】

# 入学願書

		受験番号	
		*	
フリガナ		性別	
氏名		男・女	
生年月日	昭和・平成 年 月 日 (満 歳) (西暦 年)		
志願専攻名	専攻	希望指導 教員名	
在籍大学	大学	学部	学科第3年次在籍中
志願者の 現住所	〒 住所 電話 ( ) - - 携帯電話 - -		
E-mail			
保護者の 住所・氏名	〒 住所 フリガナ 氏名 電話 ( ) - -		
学歴  (大学入学時から 記入してください。)	年 月 日	事 項	
	・ ・		
	・ ・		
	・ ・		
	・ ・		
	・ ・		

## 【記入上の注意】

1. 直接記入する場合は、黒のボールペンを用品必ず本人が記入してください。訂正する場合は、訂正箇所を二重線で消し訂正印を押してください。
2. \*印の欄は、記入しないでください。
3. 「氏名」の欄は、日本国籍を有しない方は、漢字若しくはローマ字とし、姓 (Last(Family) Name)、名 (First(Given) Name)、ミドルネーム等の順で記入してください。
4. 提出の際は、事前に希望指導教員にご相談ください。

令和5年度山形大学大学院  
理工学研究科博士前期課程（工学系）  
有機材料システム研究科博士前期課程  
【学部3年次学生を対象とする特別入試】

## 写 真 票

受験番号	*
志 願 専 攻 名	
氏 名	
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"><p>写真はり付け欄 (4 cm × 3 cm)</p><ul style="list-style-type: none"><li>●出願前3か月以内に撮影した上半身、無帽、正面向きのものとします。</li><li>●写真の裏面全体このり付けしてください。</li></ul></div>	

\*印の欄は、記入しないでください。

令和5年度山形大学大学院  
理工学研究科博士前期課程（工学系）  
有機材料システム研究科博士前期課程  
【学部3年次学生を対象とする特別入試】

## 受 験 票

受験番号	*
志 願 専 攻 名	
氏 名	

- 1 本票は、**試験当日必ず持参**してください。
- 2 試験開始時刻30分前までに試験場に到着してください。
- 3 試験開始後20分を経過した後は、試験室への入室を認めません。
- 4 本票は、入学手続の際に必要となりますので、合否が確定するまで大切に保管してください。
- 5 受験票を紛失したときは、速やかに山形大学工学部入試担当に申し出てください。
- 6 \*印の欄は、記入しないでください。

# ラベル票

① 受付簿用

●<志願する研究科にチェックしてください>

志願研究科・専攻名：大学院理工学研究科博士前期課程（工学系）

専攻

大学院有機材料システム研究科博士前期課程

有機材料システム

専攻

受験番号	フリガナ		性別	出身学校等	
	氏	名		都道府県名	学校名
*			男・女		大学 学部 学科 第3年次在籍中

注1：都道府県名の欄は、出身学校等のある都道府県名を記入してください。

2：\*印の欄は、記入しないでください。

② 合格通知用

□□□□□□

---



---

様

---

電話番号 ( ) -

---

受験番号
\*

③ 書類発送用

□□□□□□

---



---

様

---

電話番号 ( ) -

---

受験番号
\*

④ 書類発送用

□□□□□□

---



---

様

---

電話番号 ( ) -

---

受験番号
\*

⑤ 書類発送用

□□□□□□

---



---

様

---

電話番号 ( ) -

---

受験番号
\*

注1：②から⑤はすべて記入してください。

2：合格通知書及び合格発表後の郵便物を確実に受け取ることのできる郵便番号・住所・氏名・電話番号を記入してください。

3：出願後、住所変更をした場合は、工学部入試担当に速やかに連絡してください。

4：\*印の欄は、記入しないでください。